

社団法人日本心理学会研究集会等助成金成果報告書

代表者氏名 (ふりがな)	家 島 明 彦 (いえしま あきひこ)	所 属	島根大学キャリアセンター
研究集会等名称	マンガ心理学研究会		
成 果 概 要	<p>1) 参加人数 (会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください)</p> <p>会員 16名 (うち認定心理士 4名) 非会員 7名 (うち認定心理士 -名) <u>合計 23名</u> ※ML登録者数は 70名</p> <p>2) 集会等の目的・成果等 (実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください)</p> <p>★日本心理学会第 75 回大会ワークショップの開催 日本心理学会第 75 回大会で以下のワークショップを開催した (2011 年 9 月 15 日、於：日本大学文理学部)。約 20 名が参加した。</p> <p>マンガ心理学の展開 (3) : 社会心理学・社会学からのアプローチ</p> <p style="text-align: right;">企 画 者 マンガ心理学研究会 司 会 者 菅村玄二 (関西大学) 中澤 潤 (千葉大学) 話題提供者 小杉考司 (山口大学) 話題提供者 北村英哉 (東洋大学) 指定討論者 家島明彦 (島根大学) 指定討論者 荻野昌弘 (関西学院大学)</p> <p>[企画趣旨] 近年、マンガに関する心理学研究への関心が高まっており、マンガおよびマンガ読者への心理学的アプローチの体系化が求められている。日本心理学会マンガ心理学研究会 (http://manga-psy.org/) は心理学領域における様々なマンガに関する研究の知見を集約し、研究者の交流や情報の交換を促進することを目的として活動している。第 1 弾では教育心理学・認知心理学・感性心理学からのアプローチ、第 2 弾では臨床心理学・医学からのアプローチというテーマで WS を開催してきたが、第 3 弾となる今回の WS では、社会心理学・社会学からのアプローチというテーマで、マンガ/マンガ読者に対する社会心理学的/社会学的アプローチについて検討する。登壇者には、具体的な研究事例の紹介や、今後の展開が期待される研究の可能性や方向性について発表していただく。最後に、質疑応答と全体討論を行い、マンガ/マンガ読者と社会心理学/社会学の関連について参加者の方々と議論する。</p> <p>★日本心理学会第 76 回大会ワークショップの企画 2012 年度は 2009 年度からの第 4 弾として以下のワークショップを企画している。</p> <p>マンガ心理学の展開 (4) : 発達心理学・人格心理学・文化心理学からのアプローチ (仮)</p> <p style="text-align: right;">企 画 者 マンガ心理学研究会 司 会 者 未定 話題提供者 未定 指定討論者 未定</p>		